

# 上下水道事業経営戦略の改定(案)に関するパブリックコメントの結果及び対応(概要)

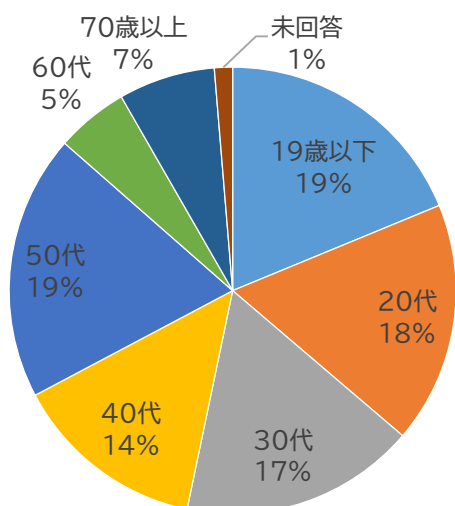
## 1. パブリックコメント実施概要

- 実施期間 令和4年12月20日(火)から令和5年1月20日(金)まで
- 周知方法 経営企画課、お客様サービス課、水道事務所、下水道事務所、上下水道局庁舎1階ロビー、各区役所市政情報コーナーへの配架、市ホームページへの掲載、報道機関に情報提供 など
- 提出方法 郵送、FAX、持参、電子申請

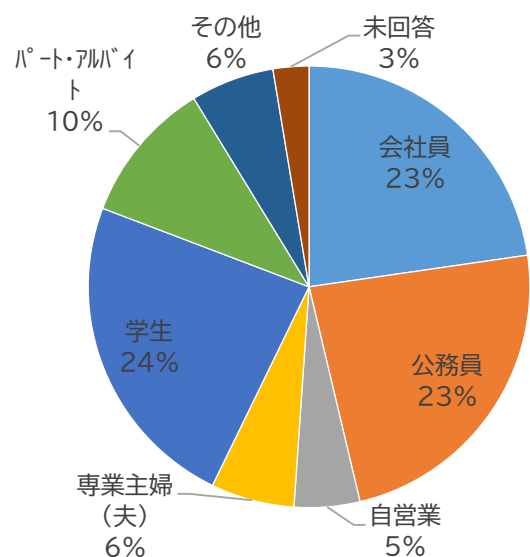
## 2. パブリックコメント実施結果

- 提出人数 229人
- 提出意見数 1,257件

年齢(人)	
19歳以下	43
20代	40
30代	39
40代	32
50代	44
60代	12
70歳以上	16
未回答	3
合計	229



職業(人)	
会社員	52
公務員	54
自営業	11
専業主婦(夫)	14
学生	54
パート・アルバイト	24
その他	14
未回答	6
合計	229



## 3. 令和4年台風第15号に係る設問

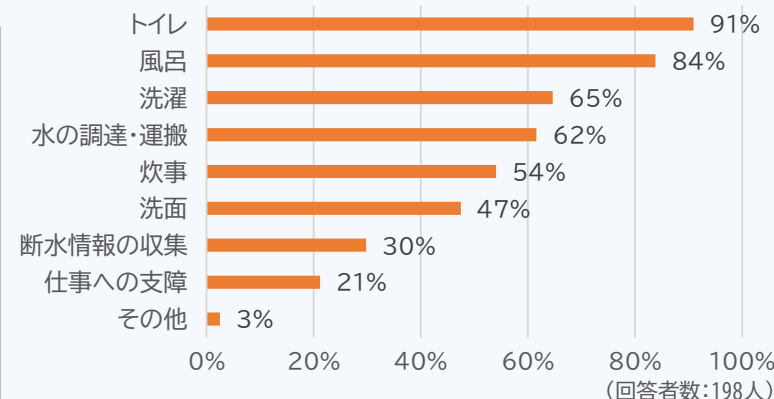
Q1 令和4年台風第15号による断水又は浸水により、ご苦労されたこと、または被災した場合に苦労したと想定できることは何ですか。(複数回答可)

### ○断水

#### 【概要】

断水によって苦労したこととして、生活衛生確保のための「トイレ」、「風呂」、「洗濯」などの用途が上位を占める結果となった。

これは、水道以外のライフラインが通常どおり使用できる状態であったことで、自宅で日常生活を送るために必要な水を確保したいと考える市民が多かったことが理由として考えられる。



#### 市の考え方

#### 反映

今回の断水被害では、本市として供給できる水の量と、市民の確保したい水の量にギャップが生じていました。

このパブリックコメントの結果などを踏まえ、他のライフラインや市民の生活状況に基づく応急給水のあり方を検討するとともに、風呂やトイレ、洗濯等に使用する水道水の代替手段等の備えに関する周知や、災害時に全庁的に行う支援策をわかりやすく発信していきます。

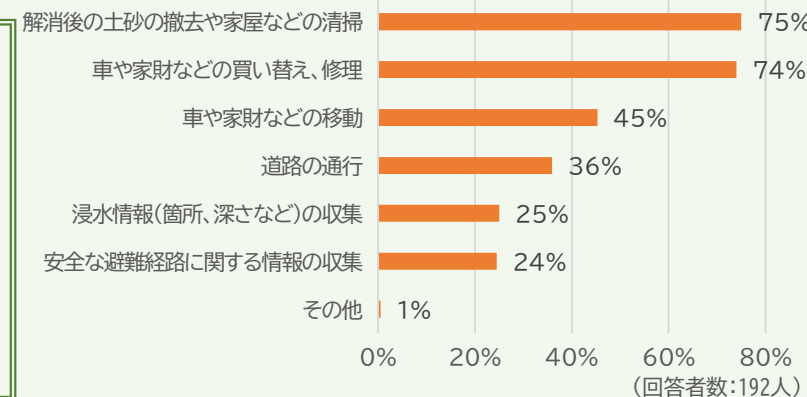
反映する

### ○浸水

#### 【概要】

浸水によって苦労したこととして、「解消後の土砂の撤去や家屋などの清掃」や「車や家財などの買い替え、修理」などの浸水解消後の対応が上位を占める結果となった。

これは、台風の降雨量が事前に予想できないもので、浸水解消後の対応が主となったことが理由として考えられる。



#### 市の考え方

#### 反映

今後、浸水被害の軽減に向けて、雨水管やポンプ場などの整備を進めるとともに、想定される浸水区域や浸水の深さなどの情報が掲載されている内水ハザードマップなどの周知を更に進める必要があります。

そこで、今回経営戦略の改定にあたり、投資事業の目標に「浸水対策の強化」を追加し、効果的な浸水対策を進めていくこととしています。

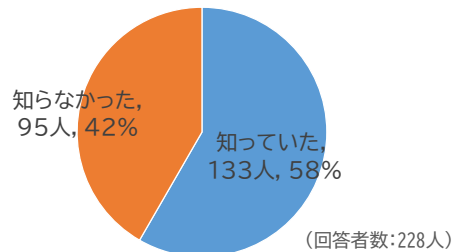
また、内水ハザードマップなどの周知は、これまでは自治会などからの要請により開催していましたが、令和5年度からは従来の要請に加え、「静岡市浸水対策推進プラン」に掲げる重点地区内に集中的に実施することで、自助・共助の意識の向上を図ります。

反映済み

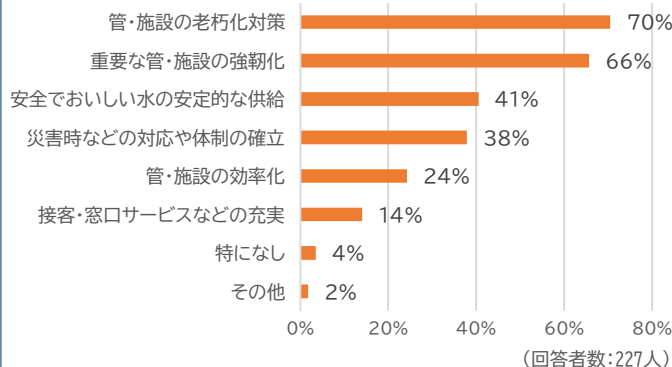
# 4. 上下水道事業経営戦略の改定（案）に関するご意見等

## 「水道事業」

Q1 水道事業は、事業のほとんどを市税ではなく水道料金で運営をしています。あなたはこのことをご存じでしたか。



Q2 水道事業は、事業のほとんどを市税ではなく水道料金で運営をしています。このことを前提として、いまあなたにとって、優先して実施すべきと思う事業はありますか。（複数回答可）



### 【概要】

経営戦略(水道編)【改訂版】に投資目標として掲げ、重点的に取り組むこととしている「管・施設の老朽化及び減災対策」に関連する事業について、優先して実施すべきとの回答が上位を占める結果となった。

Q3 水道事業に期待することや、ご意見など自由にお書きください。

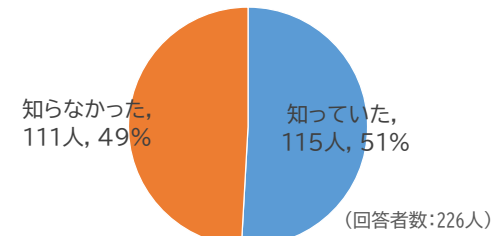
### 経営戦略（水道編）に関する「反映する」「反映済み」のご意見（一部）

(回答者数:72人)

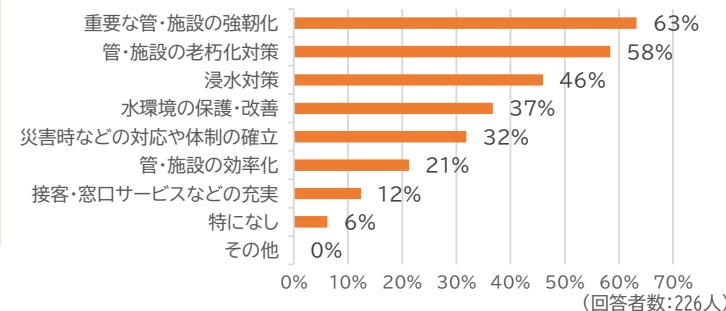
ご意見	市の考え方	反映
今回のアンケートで知るまで水道が税金で賄われていると思っていましたが、持続的なサービスを受けるには料金上がるのは必然だと理解しました。このことを市民へもっとアピールするべきだと思いました。	パブリックコメント結果においても水道が税金で賄われていないことに加え、水道料金収入が水道施設等の維持管理費用のみではなく、老朽化した施設等の更新費用の財源にもなっていることを知らない市民が多かったことから、市民の皆様により一層のご理解をいただけるよう、丁寧な説明を心がけ、積極的な周知を図っていきます。	反映する
水道管の老朽化対策は費用と時間がかかるかと思いますが、着実に進めて下さい。	老朽化施設の更新にあたっては、水需要の減少に合わせ廃止していく施設と、規模を増強することで活躍する施設を明確化し、また、水道管については土質など埋設状況を加味した「想定使用年数」を設定し、老朽化の実態に応じて水道管を効率的に更新することで、「投資の最適化」を行います。	反映済み

## 「下水道事業」

Q4 下水道事業は、浸水対策を除く事業のほとんどを、市税ではなく下水道使用料で運営をしています。あなたはこのことをご存じでしたか。



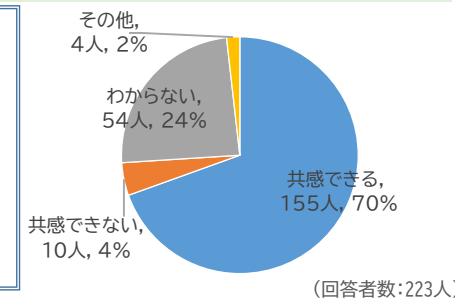
Q5 下水道事業は、浸水対策事業を除く事業のほとんどを、市税ではなく下水道使用料で運営していますが、いまあなたにとって、優先して実施すべきと思う事業はありますか。（複数回答可）



Q6 下水道事業では良好な下水道サービスを持続的に提供していく方針を掲げ、将来にわたり下水道を使い続けるための老朽化対策や、浸水被害の軽減に向けた対策に重きを置くとともに、建設投資にかかる費用を毎年一定にする目標を設定しています。このことについて、どのように思いますか。

### 【概要】

Q5では下水道を使い続けるために必要な「管・施設の強靱化及び老朽化対策」について、優先して実施すべきとの回答が上位を占める結果となった。Q6では投資目標には7割が「共感できる」と回答があったものの、おおよそ4人に1人が「わからない」と回答している。これらを踏まえて、下水道事業の方針などを丁寧に伝える広報に努める必要がある。



Q7 下水道事業に期待することや、ご意見など自由にお書きください。

### 経営戦略（下水道編）に関する「反映する」のご意見（一部）

(回答者数:55人)

ご意見	市の考え方	反映
汚水処理の普及率が、水道普及率より低いことを授業で知ったので、汚水処理が今以上に普及すると思います。	本市の水道普及率は97.8%(令和3年度時点)であるのに対し、汚水処理人口普及率は93.5%(内訳:下水道87.9%、農業集落排水0.6%、合併処理浄化槽等5.0%(令和3年度時点))と低くなっています。しかし平成29年に策定した「静岡市汚水処理計画」では、本市では経済性や効率性を踏まえ、地域の実情に応じた汚水処理の整備手法を選択し、人口集積のある市街地などを「下水道」、農村部の集落を「農業集落排水」、下水道や農業集落排水以外を「合併処理浄化槽」で整備することとしました。その計画の中では、汚水処理人口普及率の目標値を95.4%(R8)、98.5%(R28)(下水道事業は88.4%(R8)、88.5%(R28))を目指して整備を進めていくことから、設定目標が分かりやすいよう、下水道事業の人口普及率に係る記載を経営戦略内に追記します。(P2)	反映する
安心で安全な暮らしのために必要不可欠な下水道事業について、もっと市民の方々のご理解を得られるよう広報に力を入れても良いかと思えます。	令和3年度の市民意識調査では、下水道事業の満足度を調査した結果、5割程度の満足度はあるものの、下水道の役割などが認知されていないと思われる「わからない」という回答も1割~2割程度見受けられました。(下水道(汚水処理)の満足度:「わからない(13.7%)」、下水道(浸水対策)の満足度:「わからない(22.3%)」)(中略)今後も多くの方に下水道の役割や使用方法などを知っていただく必要があるため、新たに「第2章 下水道事業の現状と課題」の中に、広報についての現状を追記します。(P3)	反映する